

アーティストと共に つくるギャラリー

銀座に川崎さんオープン

「を残したい」と方針を変更。設計図も残っていなかつたが、自ら工事に携わり、3ヶ月かけて改修した。外装は建設当時のまま。室内も天井の古い材木や配線などを生かしている。

9月1日まで、大分市生まれの前衛芸術家、風倉匠（2007年死去）の作品15点を展示。チョウの研究家として知られる父の故・裕一さんが残したアゲハチョウの一一種『パルナシウス』の標本7点も並ぶ。コレクションのほとんどを寄贈したオランダ・ライデンの国立自然史博物館での特別展の様子なども紹介されている。

【東京支社】大分市出身の会社代表、川崎力宏さん（29）＝東京都中央区在住＝

が東京・銀座に残る築80年を超えるビルを改築し、「銀座レトロギャラリーMUSEE（ミュゼ）」をオープンさせた。

ビルはれんが張りの3階建て。1932年に完成した。川崎さんは購入後、解体して別のビルを新築する予定だったが、「この建物

展示終了後は貸しギャラリ」として使用する。川崎さんは「歴史ある空間で新しいものに合う、アーティストと共につくるギャラリーを目指したい」と話している。



築81年のビルを改修してギャラリーを開いた川崎力宏さん（右）と母の弘美さん